特集

ひかりの郷（さと） 日光国体

写真で振り返る激闘と栄光の６日間の記録

選手宣誓する大津夕聖（おおつゆうせい）選手と旗手の若林大季選手
（下野新聞社提供）

開始式で歓迎のあいさつをする日光市長

18年ぶりの国体開催

1月28日（火）～2月2日（日）、市内で第69回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会「ひかりの郷日光国体」が開催されました。県内での国体開催は、18年ぶりです。

スピードスケート競技では、日光市出身の若林（わかばやし）大季（だいき）選手が成年男子1、500mで3位に、兄の勇太（ゆうた）選手が成年男子500mで5位に入賞しました。

アイスホッケー競技では、成年で出場した栃木県チームが16年ぶりの準優勝に、少年で出場した栃木県チーム（日光明峰高等学校単独チーム）が3位に輝きました。

また、アイスホッケー競技は、2位の埼玉県に10点差を付ける75点で、18年ぶりとなる総合優勝を果たしました。18年前の国体では、北海道チームと同点の総合優勝でしたが、単独としての優勝は、今回が初となる快挙です。

日光市から出場した選手の戦績（敬称略）

❖成年男子

若林大季（わかばやしだいき）…写真①②
1、500m3位（準決勝時に大会新記録樹立）、5、000m決勝進出

高柴直希（たかしばなおき）…写真③
500m・1、000m準決勝進出

若林勇太（わかばやしゆうた）…写真④
500m5位、1、000m決勝進出

襲田衡俊（おそだひでとし）…写真⑤
1、500m出場

小松康太（こまつこうた）…写真⑥
5、000m出場

リレーメンバー（若林大季・高柴直希・襲田衡俊・小松康太）
2、000m決勝進出

❖少年男子…写真⑦

小倉健太郎（おぐらけんたろう）
500m・1、000m出場

スピードスケート

～時速60kmで駆け抜けるアスリートたち～

1月30日（木）、成年男子1、500m準決勝。若林大季選手が打ち出した1分49秒68のタイムに、霧降の会場が震えた。

「すごいぞ、大会新記録だ！」

最後の周回、観客の待つスタンドの前に飛び込んできた若林選手。一気にトップに躍り出ると、日光の地に歴史を刻んだ。

①1,500m 3位の若林大季選手

②1,500m決勝の若林大季選手

③1,000m予選の高柴直希選手（右）

④500m準決勝の若林勇太選手（右）

⑤1,500m予選の襲田衡俊選手（右）

⑥2,000mリレー決勝の小松康太選手

⑦1,000m予選の小倉健太郎選手（左）

成年…準優勝　少年…3位

アイスホッケー

～氷上の熱きファイターたち～

①2回戦の土田選手の劇的な決勝ゴール

②強豪北海道を下し、喜びを分かち合う

③準決勝終了後。互いに健闘をたたえる

④16年ぶりの準優勝

⑤1回戦の猛攻

⑥北海道との準決勝

⑦3位決定戦。乾（いぬい）選手のゴール

⑧堅守でチームを支えた守護神、山本（やまもと）選手

1月30日(木)、成年男子2回戦。対戦相手は優勝候補の強豪、北海道チーム。一進一退の攻防は延長戦でも決まらず、ゲームウィニングショット戦(※)に。土田（つちだ）選手の放った鮮やかなシュートがゴールに突き刺さり勝負は決した。

成年男子は16年ぶりの準優勝、少年男子は3位にそれぞれ輝いた。

栃木県チームのアイスホッケーの戦績

❖成年
- 1回戦（山口県）11対1
- 2回戦（北海道）3対2（GWS）…写真①②
- 準々決勝（福島県）11対0
- 準決勝（香川県）8対2…写真③
- 決勝（東京都）1対3…写真④

❖少年
- 1回戦（茨城県）3対0…写真⑤
- 準々決勝（香川県）16対1
- 準決勝（北海道）0対1…写真⑥
- 3位決定戦（滋賀県）9対0…写真⑦⑧

※ゲームウィニングショット（GWS）戦…サッカーのPK戦と同じ要領で、交互にショットを打ち合い勝敗を決める方法。

フィギュアスケート

～銀盤に舞う美しき闘士たち～

1月28日(火)～31日(金)、霧降アイスアリーナを舞台に、全国からトップクラスの選手たちが集結した。観客を魅了する華麗な演技に、会場からは割れんばかりの拍手が轟いた。

ショートトラック

～リンクで巡らされる駆け引きの妙～

1月28日(火)・29日(水)、今市青少年スポーツセンターで行われたショートトラック競技。

「氷上の競輪」ともいわれるこの競技に重要なのは、スピードはもとより、戦略と駆け引き。トップアスリートたちの熾烈（しれつ）な争いに、会場は大いに沸いた。

6日間の取材を終えて

東日本大震災で打撃を受けた国際観光文化都市日光。その復興を合言葉に開催された今回のひかりの郷日光国体。全国から参加した多くの選手や関係者、応援に駆けつけた観客たちで、会場は活気に溢れていました。

氷上で繰り広げられる熱い戦いや、スタンドからの観客たちの力のこもった応援の声。カメラのシャッターを押す指にも自然と力が入りました。まさにスポーツの力を感じた6日間でした。

冬の日光に明治期から脈々と受け継がれてきたスケート文化。今回の国体開催を契機に、日光の地から新たなアスリートたちが誕生することを願っています。

この特集についてくわしくは…

秘書広報課広報広聴係 ☎(21)5135